

経営比較分析表（令和4年度決算）

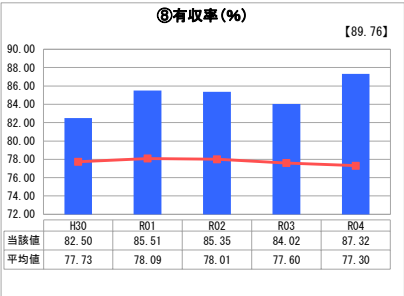
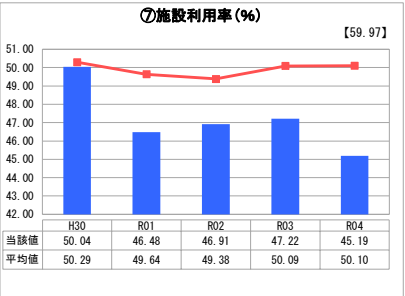
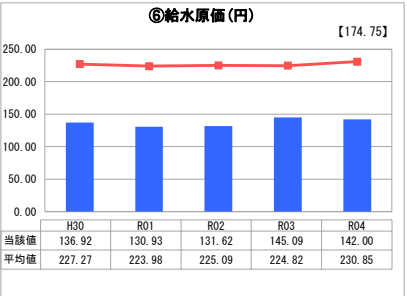
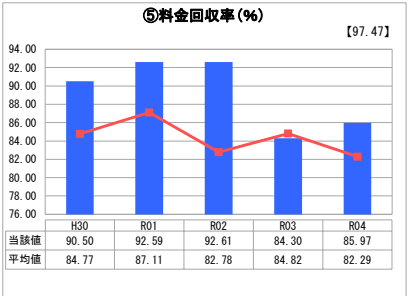
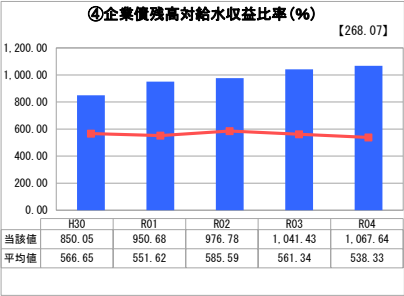
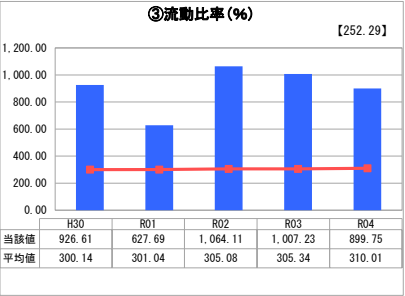
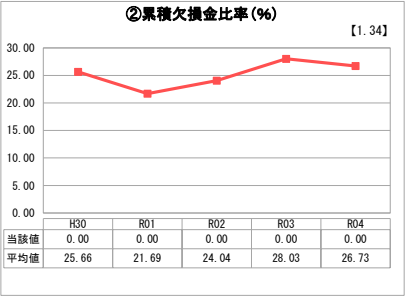
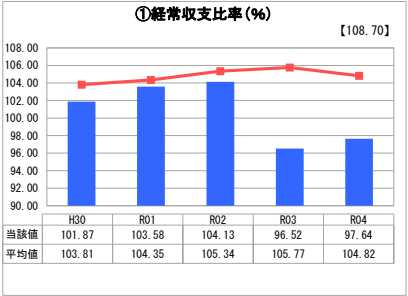
福井県 美浜町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	57.28	66.79	2,200	

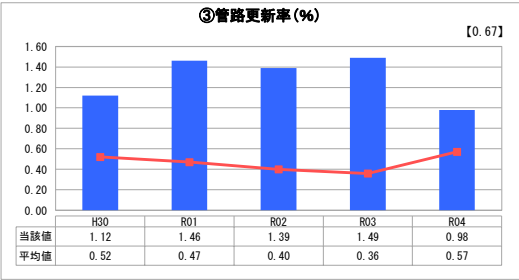
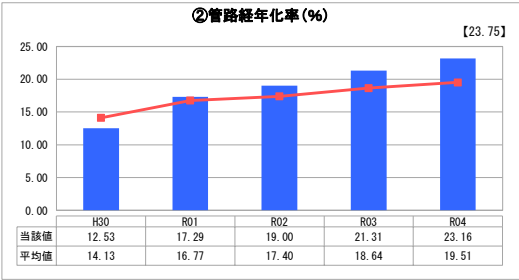
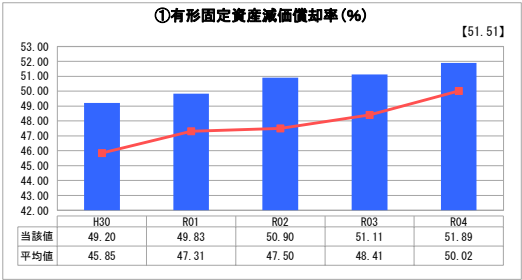
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,002	152.35	59.09
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
5,968	21.17	281.91

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率及び⑤料金回収率からみると、本町の上水道施設は、給水収益が低く、費用の一部を一般会計からの補助金等で経営を維持している状況である。今後、人口減少等により給水収益の減少や設備更新費用の増加が想定されることから、料金改定の検討や維持管理費用の削減等、経営改善に向けた取り組みが必要である。

②累積欠損金比率については、累積欠損金が発生していないため0%であり、③流動比率については、類似団体平均値を大きく上回っている。

④企業債残高対給水収益比率については、今後も老朽管等の更新を実施していくため、類似団体平均値よりも高い数値で推移すると思われる。

⑥給水原価については、類似団体平均値を下回っているが、その要因として固定資産の取得財源に補助金や工事負担金の比率が高いことや水源に地下水を利用していることから、原水及び浄水費が抑制されていることが考えられる。

⑦施設利用率については、給水人口等の減少により給水量が減少し、類似団体平均値より低い状況であることから、隣接する簡易水道施設との統合による給水区域の拡大等により施設利用率の向上を図る。

⑧有収率については、類似団体平均値を上回っているが、漏水や洗管作業等の増減が影響することから、漏水等が多い区域から布設替えを実施することで、有収率の向上を図る。

2. 老朽化の状況について

昭和50年に給水を開始し、その後給水区域を拡大してきたことから、40年を超える管路が平成29年度から発生してきている。管路更新は、老朽管から実施するのではなく、配水管を中心に漏水が多い管種、埋設管の状況、水質トラブルの多い管種、接手の種類、区域を考慮し計画的に布設替えを実施し、有収率の向上、良好な水質を保つことにより費用の抑制を目指している。

配水管の管路更新率は年々向上しているが、基幹管路（導・送水管、配水本管）の管路更新率はあまり進んでいないことから、計画的に管路更新を実施する。

全体総括

美浜町の上水道は、自然環境が豊かで豊富な地下水を水源としているため、安全で美味しい水道水を低廉に供給することができていると考えている。しかし、人口減少や節水機器の普及により給水量が減少しており、同時に施設利用率も低迷している。

平成10年度から進めてきた耐震化及びバイパス化を、今後も「新・美浜町地域水道ビジョン」（水道整備基本計画）に基づいて計画的に整備し、余剰水を有効に販売するため、隣接する簡易水道施設との統合による給水区域の拡大を図り、経営基盤を強化すると共に、水道技術の向上により施設の維持管理の徹底と計画的、効率的な施設更新を実施し、水道事業の目的達成に努力する。